

公益社団法人日本地震工学会 第25回理事会議事録

A. 日時：2016年12月6日（火） 16時00分～19時00分

B. 場所：建築会館308会議室

C. 出席者：（会長）目黒公郎，（次期会長候補）福和伸夫，（副会長）木全宏之，中埜良昭
（担当理事）吉見雅行，田中宏司，原田健二，長島一郎，大堀道広，山口 亮，
高橋郁夫，甲斐芳郎，秋山充良，中村友紀子，宮腰淳一
（監事）勝俣英雄，中村 晋

欠席：（担当理事）室野剛隆，楠 浩一，中村いずみ，入江さやか

オブザーバ出席：吹野美絵事務局長，小松康典事務局長

D. 議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1) 第24回理事会議事録（案）の確認（田中理事） | 資料 25-01 |
| 2) 第10回正副会長会議報告（田中理事） | 資料 25-02 |
| 3) 会務報告（吉見理事） | 資料 25-03 |
| 4) 会計報告（原田理事） | 資料 25-04 |
| 5) 年次大会（大会-2016）収支報告（甲斐理事） | 資料 25-05 |
| 6) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 25-06 |
| 7) 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村（い）理事・山口理事） | 資料 25-07 |
| 8) 会誌編集委員会からの報告（高橋理事） | 資料 25-08 |
| 9) 17WCEE 招致委員会からの報告（中埜副会長） | 資料 25-09 |
| 10) 論文集編集委員会からの報告（大堀理事） | 資料 25-10 |
| 11) 事業企画委員会からの報告（中村（友）理事・宮腰理事） | 資料 25-11 |
| 12) 地震災害対応委員会からの報告（木全副会長） | 資料なし |
| 13) 出張授業の報告（室野理事） | 資料 25-12 |
| 14) 理事の辞任について（木全副会長） | 資料なし |

議案

- | | |
|-----------------------|----------|
| 第1号 入退会者（室野理事） | 資料 25-13 |
| 第2号 共催・後援・協賛等（田中理事） | 資料 25-14 |
| 第3号 理事の分掌変更について（吉見理事） | 資料 25-15 |

懇談事項

- | | |
|--|----------|
| 15) 内閣府の立入検査について（吉見理事） | 資料 22-16 |
| 16) JAEE のファイルサーバー設置の提案（高橋理事） | 資料 22-17 |
| 17) 「地質地盤情報整備活用推進基本法」について（秋山理事） | 資料 22/18 |
| 18) 次年度 日本地震工学会大会-2017 の開催日・会場について（秋山理事） | 資料 25-19 |

19) 2018 年日本地震工学シンポジウムについて（中埜副会長・吉見理事）	資料 25-20
20) 功績賞、功労賞の候補者について（目黒会長）	資料 25-21
21) 2019 年度地震工学会大会について（吉見理事）	資料 25-22
22) 震災対策技術展・ブース展示について（吉見理事）	資料 25-23
23) 2016 年度活動報告、2017 年度活動計画・予算案の作成について （吉見理事・田中理事）	資料 25-24
24) 会員関係規則の改訂について（木全副会長）	資料 25-25
25) 次年度理事会体制について（吉見理事）	資料 25-26

理事 18 名中 14 名の出席があり、理事会の成立が確認された。

E1. 報告事項：

- 1) 第 24 回理事会議事録（案）の確認（田中理事）
田中理事より資料 25-01 を基に第 24 回理事会の議事録が説明され、異議なく承認された。
- 2) 第 10 回正副会長会議報告（田中理事）
田中理事より資料 25-02 を基に拡大正副会長会議の議事録が説明され、異議なく承認された。
- 3) 会務報告（吉見理事）
吉見理事より資料 25-03 を基に会務報告がなされ、異議なく承認された。
- 4) 会計報告（原田理事・長島理事）
原田理事・長島理事より資料 25-04 を基に今年度の会計報告がなされ、異議なく承認された。
- 5) 年次大会（大会-2016）収支報告（甲斐理事）
甲斐理事より資料 25-05 を基に大会-2016 の会計報告がなされ、異議なく承認された。助成金について、黒字でも問題が無いかの質問について、高知県内で支援額を超える支出があれば問題がないことが確認された。
- 6) 広報部会からの報告（入江理事）
入江理事の代理で、吉見理事より資料 25-06 を基に広報部会の活動報告がなれた。国土交通省記者クラブおよび気象庁記者クラブに 1 年程度継続的に会誌配布すること、熊本地震特集号を熊本県庁記者クラブに配布したことが報告された。
- 7) 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村（い）理事・山口理事）
山口理事より資料 25-07 を基に情報コミュニケーション委員会の活動報告がなされた。メールニュース、JAEE Newsletter 第 16 号の発行、JAEE のウェブサイトのメンテナンス状況、次回委員会（2/1 開催）の予定について報告された。

8) 会誌編集委員会からの報告（高橋理事）

高橋理事より資料 25-08 を基に会誌編集委員会の活動報告がなされた。日本地震学会会誌 No. 30（2 月末発行）について、特集テーマを「ここまで来た数値シミュレーション（技術）」とすること、各原稿の執筆依頼が完了したことが報告された。

9) 17WCEE 招致委員会からの報告（中埜副会長）

中埜副会長より資料 25-09 を基に 17WCEE 招致活動について報告がなされた。各国の ND に送付した BID paper の紹介、現在 5 カ国が手を挙げている状況であること、Japan Night の日程が 1/11（水）19:30～チリ・日本大使公邸開催で決定したことが報告された。理事・招致メンバーは 17WCEE 期間中 Japan booth 前で 10:00～10:30 に開催される現地作戦会議に参加すること、各国 ND とコネクションのある方は Japan Night への誘導に協力することが依頼された。

10) 論文集編集委員会からの報告（大堀理事）

大堀理事より資料 25-10 を基に日本地震工学会の論文様式の変更案について説明があり、異議なく承認された。

11) 事業企画委員会からの報告（中村（友）理事・宮腰理事）

中村友紀子理事より事業企画委員会の活動報告がなされた。第 3 回事業企画委員会の実施状況、2 月実施予定の E ディフェンス見学会の収支計画、2/3 開催の第 7 回震災予防講演会「熊本地震に学ぶ首都圏の地震防災」について報告された。

12) 地震災害対応委員会からの報告（木全副会長）

木全副会長より、11 月 3 日に発生したニュージーランドの地震については、関連学会および各研究機関に主だった動きがなく、地震災害対応委員会としても特に対応を行っていないことが報告された。

13) 出張授業の報告（吉見理事）

吉見理事より資料 25-12 を基に出前講座および出張講座の実施状況について報告がなされた。講演の依頼内容が多岐にわたるため、依頼内容によっては受付できない場合もあるなど、ホームページの案内の見直しを総務部会で検討することが確認された。

14) 理事の辞任について（木全副会長）

木全副会長より、倉本副会長の辞意について説明があり、異議なく承認された。

E2. 議案：

第 1 号 入退会者（吉見理事）

吉見理事より資料 25-13 を基に、正会員 7 名、学生会員 1 名の入会希望者の報告があり、異議なく議決された。また、退会者と会員数について報告が行われた。外国に在住している方の会費の徴

収方法や各種案内の送付方法などについて議論がなされた。

第2号 共催・後援・協賛等（田中理事）

田中理事より資料 25-14 を基に後援 3 件、協賛 2 件の名義使用依頼について説明があり、異議なく議決された。また、前回理事会において共催で議決された東日本大震災合同調査報告総集編刊行記念シンポジウムが 8 学会主催に変更になったことが報告され、異議なく議決された。

第3号 理事の分掌変更について（吉見理事）

吉見理事より資料 25-15 を基に説明が行われ、倉本副会長の辞任に伴い、副会長の補充ではなく、副会長の分掌を変更することで対応することが説明され異議なく議決された。第一副会長（木全副会長）の分掌に事業（企画）総括を追加し、第二副会長（中埜副会長）の分掌に 調査研究・学術（論文）総括を追加する。また、中埜副会長は研究統括委員会および論文賞選考委員会の委員長となる。

E3. 懇談事項：

15) 内閣府の立入検査について（吉見理事）

吉見理事より資料 25-16 を基に内閣府立入検査対応について説明がなされた。1/25 に検査が実施されること、当日の対応予定者や事前の準備状況について意見交換がなされた。

16) JAE のファイルサーバー設置の提案（高橋理事）

高橋理事より資料 25-17 に基づきファイルサーバー（WEB ストレージ）の設置について提案がなされた。次回理事会までに、複数の委員会で使用することも考慮にいて、Dropbox で問題がないかを確認して再度議論することとなった。

17) 「地質地盤情報整備活用推進基本法」について（秋山理事）

秋山理事より資料 25-18 に基づき地質地盤情報整備活用推進基本法趣旨書について説明があった。これまで地質地盤情報の活用について、地質地盤情報の活用と法整備を考える会で検討を行ってきたが、福岡の陥没事故や杭の偽装問題などを受け、国土交通省の委員会の中で検討することとなったことが報告された。

18) 次年度 日本地震工学会大会-2017 の開催日・会場について（秋山理事）

秋山理事より資料 25-19 に基づき日本地震工学会大会-2017 の開催日および会場案について説明があり意義なく承認された。次回 News Letter およびメールニュースに開催案内を掲載すること、日本語版 Web 作成を情報コミュニケーション委員会が支援すること、英語版 Web を国際委員会が支援することが確認された。

19) 2018 年日本地震工学シンポジウムについて（中埜副会長・吉見理事）

中埜副会長・吉見理事より資料 25-20 に基づき日本地震工学シンポジウムの開催準備状況について説明がなされた。第 15 回日本地震工学シンポジウムの運営委員長に東北大風間基樹教授を指名

することが報告され、意義なく承認された。また、幹事長候補の東工大高橋章浩教授には日本地震工学会の理事に就任して頂くことが報告された。特集号の論文集は日本地震工学会で引き受けること、シンポジウム論文は間口を広げて広く募るため査読はもうけないこと、優秀な論文は査読論文に出してもらおう仕組みを考えることが確認された。次回理事会で、現在の投稿システムの費用、投稿数、採択数などによる収支想定を明確にすることとなった。

20) 功績賞、功労賞の候補者について（目黒会長）

目黒会長より功績賞、功労賞の候補者の推薦について説明があり、推薦方法について活発な意見交換がなされた。本理事会での議論を踏まえ、各理事それぞれの考えで1月末までに推薦を行うこととなった。

21) 2019年度地震工学会大会について（吉見理事）

吉見理事より資料 25-22 に基づき 2019 年度地震工学会大会の準備状況について説明があり、日本地震学会との連携開催となることから、会場を京都とすることが確認された。また、2019 年の委員長候補者を今年度中に推薦することが確認された。

22) 震災対策技術展・ブース展示について（吉見理事）

吉見理事より資料 25-23 に基づき、2/2~2/3 に開催される震災対策技術展に日本地震工学会のブースを出すことが報告され、意義なく承認された。事業企画委員会が対応することが確認された。

23) 2016 年度活動報告、2017 年度活動計画・予算案の作成について（吉見理事）

吉見理事より資料 25-24 に基づき、2016 年度活動報告・2017 年度活動計画・2017 年度予算原案の作成様式の説明がなされた。各部会及び各委員会において1月中に作成することとなった。

24) 会員関係規則の改訂について（木全副会長）

木全副会長より資料 25-25 に基づき、会員関係規則の改訂について説明がなされた。別紙の入会金及び会費の免除の補足事項の記載方法について、経済的損失を受け会費を納めることが困難な状態にある場合を明記することと届出書の様式を加えることとなった。規則全般を再度見直し、次回理事会で審議することとなった。

25) 次年度理事会体制について（吉見理事）

吉見理事より資料 25-26 に基づき、次年度理事会体制について説明がなされた。

次回理事会：3月21日（火）16時-19時

記録担当：総務理事 田中宏司